

背景

水道事業における検針業務は、検針員の高齢化等に伴う人員不足をはじめ、山間部や島しょ部の交通の不便な地域での検針が難しいなどの課題があります。そこで、業務継続のために水道スマートメーターによる自動検針やショートメッセージサービス(SMS)を活用した通知サービスなどのデジタル技術の導入が求められています。水みらい広島は広島県水道広域連合企業団北広島事務所から水道管理業務を受託していることから、自動検針とSMS通知サービスを導入した一体的なDX化による運用の実証を計画しました。

実施主体 株式会社水みらい広島

実施場所 北広島町

活用技術 IoT

支援事業

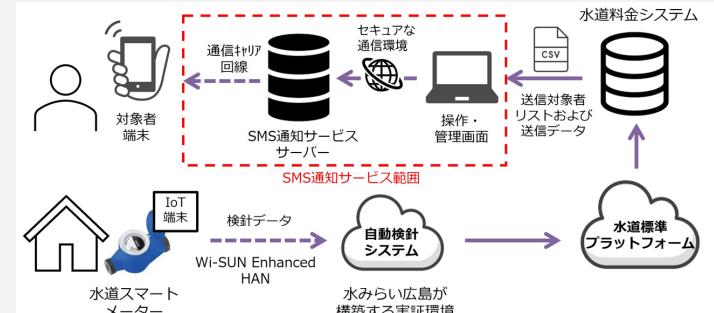
実証概要

以下の4つの実証を行います。

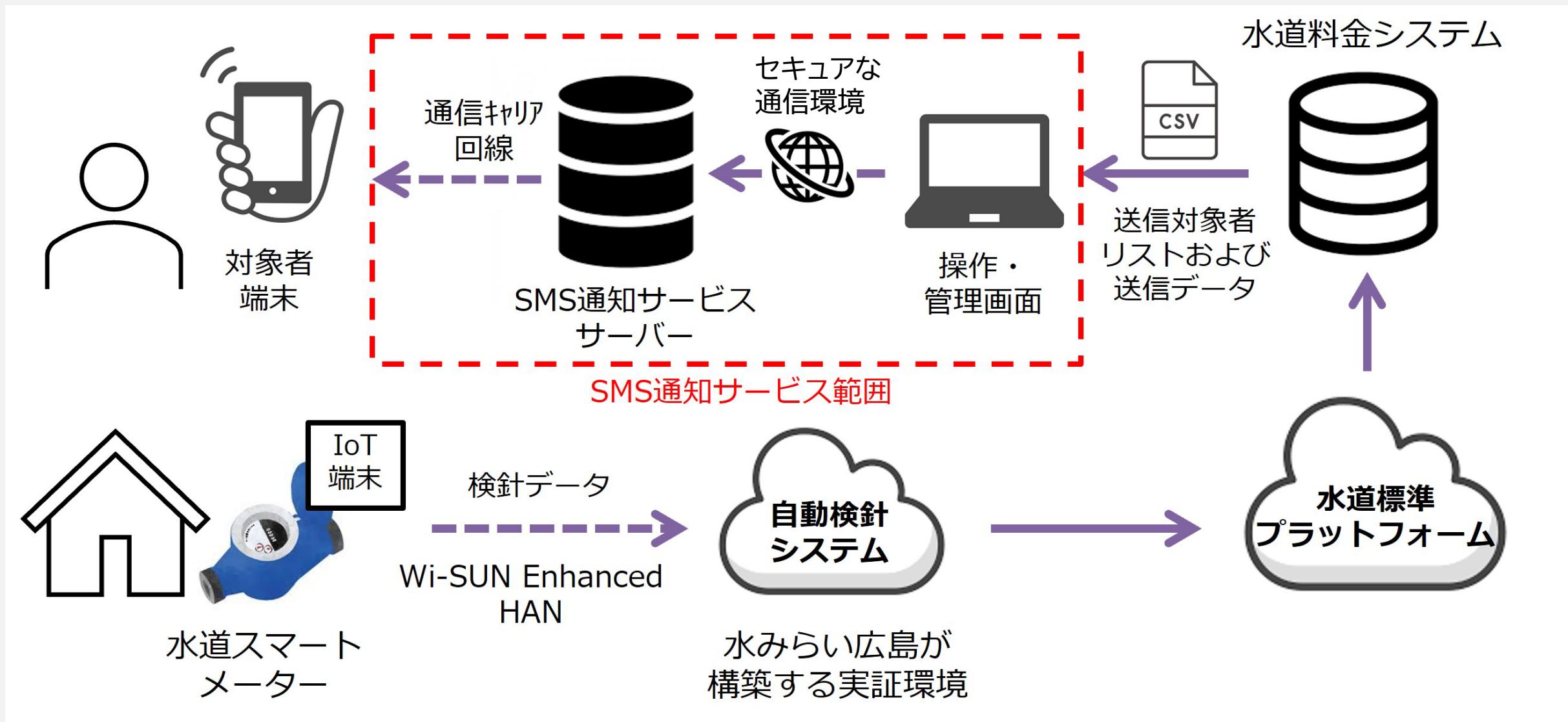
- ①広島県北広島町の一部地区に、オープン型無線通信規格に対応した水道スマートメーターと中継器を設置し、各世帯の検針データを自動検針クラウドへ送信することによる自動検針を実施します。
- ②クラウドで収集した検針データの水道標準プラットフォームでの保管や、異常水量や漏水の監視など、アプリケーションを用いた検針以外のデータ利活用を実施します。
- ③プラットフォーム上から検針データを取り出し、既存の料金システムでの水道料金の算定を行い、SMS通知サービスによって各種通知を利用者へ送信します。
- ④前述のシステムとサービス構成を整備した後、自動検針とSMS通知サービスの一体的な運用の実証を半年から1年程度の期間で実施し、終了後に水道事業者と利用者へのヒアリングを通じて実証結果を検証します。

今後の展望

2025年10月から本計画に沿った運用を開始しました。来年度以降は、実証で得られた知見や各種データを分析し、本格導入に向けた仕組みの検討や関係機関との調整を予定しています。今後も水道スマートメーターやデジタル技術の導入により水道DXを推進し、持続可能な水道事業の実現に寄与します。



実証環境の全体構成



SMSによる通知の一例

最上部

検針結果兼納入通知書

毎度ご利用いただきありがとうございます。

お客様名	ご対象者様
水栓番号	0000000000-000
検針順路番号	1-00000-000000-000
請求年月	令和7年2月分
前回検針	令和7年1月1日
今回検針	令和7年2月1日
今回指示数	1000
前回指示数	970
今回使用水量	30m ³

